

#### 4月の津の物価 前年比 2.0%上昇

四月の津市の消費者物価指数（二〇二〇年＝一〇〇、生鮮食品を除く）は、前年同月比2.0%の上昇となった。2%以上となるのは一四年四月の消費税増税の影響が残る一五年三月(2.5%)以来、七年一カ月ぶり。五月も1.7%で四カ月連続の上昇となった。

消費者物価指数は、消費者が購入するモノやサービスの価格の変動を表し、総務省が毎月発表する。五月に上昇が目立ったのは、電気代(23.7%)やガス代(13.9%)などのエネルギー関連、油脂・調味料(6.8%)や菓子類(2.8%)などで全国と同様の傾向だった。

要因として、新型コロナウイルス禍による生産調整や脱炭素の広がりなどで液化天然ガス(LNG)などの燃料需給が逼迫したことや、大豆・菜種、小麦が天候不順で減産したことなどが挙げられる。ウクライナ情勢や物流費の上昇、急激な円安も追い打ちをかけた。

一方、企業間が取引する際の価格を表す全国の企業物価指数は五月の速報値で、国内物価が前年同月比9.1%上昇、輸入物価が円ベースで43.3%上昇した。津市の消費者物価指数を大きく上回っており、一部企業ではコスト増分を吸収できず、さらに価格への転嫁を進める可能性がある。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子)



※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む (百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました)」

2022年7月7日